

第5回田辺市総合計画審議会
会議録

第5回田辺市総合計画審議会会議録

日 時	平成29年2月24日（金）午後1時30分～午後2時30分
場 所	田辺市役所 本庁4階 第1委員会室
出席委員	22名
欠席委員	8名
会議事項	1. 開会 2. 議事録署名委員の選出 3. 議事 (1) 基本計画案の修正について (2) 重点プロジェクト案について (3) その他 4. 閉会

1. 開会

委員の半数以上の出席を確認、総合計画審議会条例第5条第2項の規定により、吉村典久会長から審議会の成立を報告。

2. 議事録署名委員の選出

田辺市総合計画審議会運営規則第7条第2項の規定により、本会議の議事録署名委員として多田委員、中山委員を指名。

3. 議事

(1) 基本計画案の修正について（事務局から説明）

【質疑応答】

(A 委員)

1 ページのNo.5 修正後の欄にある④施策の展開に、「業務継続計画を策定し」や「行政機能の維持を図ります」という表現があるが、文章を読んでも私には意味が分からない。例えば、「業務継続計画」、業務の継続と聞くと、今ある業務と同じものが続くという意味だと思える。「行政機能の維持」について、維持というのは現状を続けるという意味だと思う。行政機能の効率化を図るというのであれば意味が分かるが。そもそも業務継続計画とは何か。

(事務局)

今、ご質問をいただいた業務継続計画について、災害が発生したときに行政機能が混乱することも想定されるが、そういった場合にどういった業務が最低限必要であるか事前に確認するとともに、発災後、どういった業務を徐々に回復させていくかという、行政の業務を継続するための計画となっている。機能の維持を図ることについて、維持と表現をしているのは、通常の行政業務を災害時においても維持するという意味で表現している。

(A 委員)

今の説明もよく分からない。業務計画を策定するとか、行政機能の効率化を図るというの

であれば話は分かるがどうか。

(吉村会長)

リスクマネジメント的な観点からの業務継続計画という意味と思われるが。

(事務局)

会長のおっしゃるとおり、災害時において行政機能の維持を図るという意味の文章であると考えていただきたい。

(A 委員)

よく分からないが、それでよいということであれば異議はない。

(吉村会長)

違う意味に受け取られてしまうことも考慮し、市民の方にとってより分かりやすい文章となるよう、表現等については事務局にお考えいただきたい。

(事務局)

一般の方に分かりづらい部分もあると思うので、検討させていただきたい。

(B 委員)

スポーツ振興について、一点提案したいことがある。先日、新聞記事でパラリンピックの練習場として田辺スポーツパークが選ばれたということが書かれていた。その中で市長のコメントにパラリンピックはもちろんのこと、地域のスポーツ振興にも力を入れていくとの内容があった。地域のスポーツ振興については、自分たちも望むところであり、スポーツ合宿やパラリンピックの強化合宿等で田辺に来ていただいたり、合宿に併せてスポーツ教室を実施していただいたりと非常に満足しているが、もう少し振興していかなければならないという思いもある。市民アンケートで誰もが生涯を通じてスポーツを楽しめる環境が整っていると思う市民の割合が44.7%に上がっているが、上がり幅は単純に田辺スポーツパークができたからと捉えるのが妥当と考えている。

基本理念、将来像、スポーツ振興の文章に全てが含まれていると思うので、計画に基づいて実施してもらえれば地域のスポーツ振興は実現されると思う。しかし、スポーツ振興の手立ての一つとして、各種団体に支援を充実させることが有効と書いているが、これだけでは分かりづらい部分がある。満足度を高めようと思うのであれば、市民の意見を聞き、それに対応することが重要だと思う。文章の中に今から発言することを入れてもらいたい。「市民誰もが気軽にスポーツに親しみ、楽しめるように、活動や大会運営等で困ったことがあれば、相談を受けることが必要です。市民の意見に耳を傾け、誰もが生涯を通じてスポーツを楽しむように問題改善に努めます。」

もう一点は要望になるが、田辺スポーツパークの室内練習場の夜間利用について、少年サッカーや少年野球、その他団体が利用したいと思っているが、合宿利用等の関係で2月に一般利用が可能な日数が3日間、3月は5日間と非常に少ない。合宿利用も重要だと思うので、無理を言うつもりはないが、室内練習場は半面ごとに利用可能なので、合宿期間中も夜間の利用時間だけは半面を市民のために空けていただきたい。

(事務局)

田辺スポーツパークのパラリンピック強化指定施設に係る文章について、強化指定施設に指定されたのが最近のため反映できていないが、担当課とも協議し、次回までに表現等検討していきたい。

スポーツ振興の目標設定については、他の項目と比較しても高い目標設定となっている。スポーツパークができ、利用される方が多くなるに伴い、環境が整備されていると感じてもらえる方も多くなる反面、先ほどいただいた室内練習場の話、施設利用に関する課題も少なからず出てくるものと考えている。しかし、室内練習場の話等詳細な事項について総合計画の中に記載するというのは難しく、本文の文中に含まれているとご理解をいただき、細かな部分についてはスポーツ振興課に情報提供させていただくので、その点よろしく願いたい。

総合計画の文章表現は別として、大変貴重なご意見をいただいたと考えている。本市では交流人口の拡大に向けて、合宿等の誘致に力を入れている一方、市民の皆様に施設を利用いただき、スポーツに親しんでいただく、これが大事であると考えている。また、施設の整備も大切だが、重要なのは中身と考えている。ソフト的なスポーツ振興についても、例えば、未来へという関係で申し上げると、小学生を対象に夢の教室事業を実施しており、本事業では有名アスリートを講師にスポーツの素晴らしさを体験し、理解してもらえる取組を展開している。また、子供だけでなく、老若男女全ての市民の方がスポーツに親しんでいただけるような取組を今後進めたいと考えている。

アンケートについて、今回は総合計画ということで市全般に係わる内容となり、あまり詳細な内容のアンケートは取りづらい部分があった。今後、総合計画に基づいた分野別の取組の中で、スポーツの分野で市民の皆様にご意見をいただく機会というものもあるかと思う。そうした中でニーズ等掘り下げていく必要があると考えているので、ご理解の程、よろしく願いたい。

(B 委員)

柔軟に意見を聞いてもらい、改善してもらったら何も問題はない。

(2) 重点プロジェクト案について (事務局から説明)

【質疑応答】

(A 委員)

重点プロジェクト案の説明を聞き、先ほど説明いただいた業務継続計画や行政機能の維持についてもよく理解できた。重点プロジェクト案の2ページの9行目、「来たるべく南海トラフ地震」という文言がある。「来るべき」という表現が正しいのではないかと思い、地震学者の論文や報告書を調べてみたところ、どちらの表現もあった。どちらが正しいのか分からないので、NHK の報告に記載されている「いつか来る」という表現のほうが分かりやすいと思うので、一度検討していただきたい。

(事務局)

防災まちづくり課では防災に関係する計画等作成しており、それらの計画との整合性も図りながら検討させていただきたい。

(C 委員)

2点あり、1点は重点プロジェクトの体系図における基本計画の単位施策から交通が抜けているので追加いただきたい。

もう1点は、重点プロジェクト化について、吉村会長がおっしゃったように、横串を刺すというのは非常に重要な視点であると思うが、その一方で重点プロジェクトと言われると、総合的な計画の中で、何か具体的なことをやるのではないかと受けとめられかねないところがあって、特定の事業の実施について総合計画では載せられないというジレンマがあるかと思うが、重点プロジェクトを敢えて載せることで、横串を刺して、焦点化することで、田辺市の行政として、何がどう進むことを事務局として期待されているのか聞かせていただきたい。

(事務局)

横串に刺して、敢えて重点プロジェクトと位置付けている考え方について、資料の2をご覧ください。先ほどご説明申し上げたように下段の基本計画、これは施策、単位施策という中で体系立てているわけだが、それぞれの施策や単位施策は、基本的にはそれぞれの担当課が中心となりながら進めていくものと考えております。しかし、現在では個別の施策だけでは、なかなか対応できない社会経済情勢になってきていることを鑑みて、組織的な話で申し訳ないが、重点プロジェクトと呼ばれる5つのプロジェクトについては、基本的には例えば、企画広報課が中心となって、全体的な調整や進行管理を図りながら、進めて行くプロジェクトであると考えている。C委員がおっしゃったように、プロジェクトという言葉自体はどうしても具体的なところが思い浮かんでしまうが、敢えてそうした形の中で総合的に進めていくということで、重点プロジェクトとさせていただいている。

(D 委員)

横串を刺す重点プロジェクトという中で、発信交流プロジェクトについては丸が一つしか付いていない。横串を刺すというのは重要だと思うので、例えば、発信交流に人の施策や単位施策等、何かもう少し関連付けられるよう考えていただければと思う。

(事務局)

確かに発信交流プロジェクトが活力の分野だけということで、これで横断的かと言われると大変辛いところである。この段階においては活力の中でも施策間の連携も図っていくという形の中で位置付けているところであるが、ご指摘もいただいたように、発信交流には遠いながら人に係る部分もあるので、具体的に施策、基本計画のところにとどのように表すことができるか別にして、考え方としてはそうした考えを持ちながらいきたいので、よろしく願いしたい。

4. 閉会